

ターの3件であり、全国的に見ても競争率の高い事業であるとの説明がありました。

#### ◆果物の販売対策◆

これからは生食用だけではなく、ジュース加工が必要。JA秋田ふるさとでは大型の加工施設を考えているようだ。リンゴやブドウといった果樹に加え、シシリアンルージュもできる総合型であれば販売の足しになる。具体化されれば市でも応援していきたい。産地収益力向上協議会で計画をまとめていきたい、との説明がありました。

## 建設

### リフォーム事業、22年度も継続

今定例会審査では、議案19件、請願・陳情各1件、22年度一般会計予算特別委員会、当分科会所管部分について、それぞれ可決、採択すべきものと決定されました。主な審査は次のとおりでした。

#### ◆下水道料金改定は経過措置を

##### 経て統一◆

集落排水と下水道条例の一部を改正する条例案審査では、料金を統一するのか、住民説明会での市民の反応はどうだったのかと

の質疑に対し、経過措置を経て2年後に統一したい。地域協議会や住民説明会を延べ18回開催し、40カ所もの事業所訪問などで、料金改定について説明した。特に反対意見はなく、不本意であるが市の状況も理解できるとの意見も寄せられ、改定に理解をいただいたというの答弁がありました。



リフォーム申請窓口となる建築住宅課

#### ◆住宅リフォーム支援事業、

##### 県との受付一元化◆

継続する住宅リフォーム補助事業、県との違い、受付の一元化についての質疑に対し、3月から県の住宅リフォーム支援事業の申請を受け付けている。当市と同じく対象工事費は50万円以上。県では契約書や申請書が必要となり、太陽光発電の設置も対象となる。市では既に平成21年度から事業をスタートさせているため、

条件を県と同様に変更することは考えていない。なお、市と県のリフォーム補助事業は、建築住宅課で申請手続きができることとなったとの答弁がありました。

## 総務文教

### 「横手明峰中学校」誕生へ

委員会に付託された請願1件、議案27件を審査しました。

#### ◆行政組織条例の全部改正◆

財務部をなくすことについての質疑に対し、これから財源的には合併特例による交付税が少なくなり、さらに厳しい状況が予想されるため、優先順位を重視し迅速に選択していかなければならない。そのためには総合計画を担当する企画と財政課が常に綿密に連携をとって進むべきであると考えたとの答弁がありました。

#### ◆西部地区統合中学校の名称◆

503件の応募の中から西部地区中学校総合基本構想策定委員会でも3点に絞り、市長が名称を決定したとの答弁がありました。

#### ◆農村体験学習施設設置条例の

##### 一部改正◆

修学旅行に来てもらうためにどうするかとの質疑に対し、平成

25年に農山村交流プロジェクト事業が始まる。まちむら交流機構が農山漁村体験や修学旅行を希望するところをコーディネートする。市内の小中学校に主に使ってもらい、さらにその機構に登録して体験を望む学校の招致に努めたいとの答弁がありました。

#### ◆中学校大規模改修について◆

大規模改修工事が授業に与える影響についての質疑に対し、受験を迎える3年生は現校舎の裏側のプレハブに入ってもらい、音が出る工事は夏休みに集中的に行いたいとの答弁がありました。平成22年度一般会計予算案の採決では、統合中学校の土地取得単価や本庁舎建設についての意見がまとまらなかったため、採決を行いませんでした。



農山村体験学習施設を視察（増田地域）